

こころの健康科学
研究事業

厚生労働科学研究費補助金研究事業の概要

| |
|--|
| 研究事業 （研究事業中の分野名）： ころの健康科学研究事業 |
| 所管課 ： 社会・援護局障害保健福祉部企画課 （研究費の執行、精神分野の調整；社会・援護局障害保健福祉部企画課） （推進事業費の執行、神経分野の調整；健康局疾病対策課） |
| 予算額 （平成16年度）： 1,756,175千円 |
| ①研究事業の目的 高い水準で推移する自殺問題をはじめ、社会的関心の高い統合失調症やうつ病、睡眠障害等のころの健康に関わる問題と、ひきこもり等の思春期精神保健の問題、また自閉症やアスペルガー症候群等の広汎性発達障害及び神経・筋疾患に対して、疫学的調査によるデータの蓄積と解析を行い、心理・社会学的方法、分子生物学的方法、画像診断技術等を活用し、病因・病態の解明、効果的な予防、診断、治療法等の研究・開発を推進する。 |
| ②課題採択・資金配分の全般的状況 別紙 |
| ③研究成果及びその他の効果 精神保健福祉分野において、行政施策に反映された研究名とそのポイントを例示すると以下の通り。 <ul style="list-style-type: none">・ 自殺と防止対策の実態に関する研究（今田班） → 厚生労働省「うつ対策推進方策マニュアル」に研究成果が取り入れられた。・ ころの健康に関する疫学調査の実施に関する研究（吉川班） → 厚生労働省「心の健康問題の正しい理解のための普及啓発検討会報告書」（その中の指針は（ころのバリアフリー宣言）としてまとめられている）作成の際の基礎的しりょうにもなった。・ 児童思春期精神医療保健福祉のシステム化に関する研究（斎藤班） → わが国におけるいわゆるひきこもり対策における今後の対応方策を検討する上での基礎的な資料となった。 さらに、行政施策との関わりの深い研究として、 <ul style="list-style-type: none">・ 触法行為を行った精神障害者の精神医学的評価、治療等に関する研究（松下班） においては、平成15年7月に公布された「心神喪失者等医療観察法」の施行準備に向けて各種の医療処遇ガイドラインを作成していくこととしているが、そのベースとなる医療処遇の内容が議論され示されたところである。 また、神経分野については、以下のとおりである。 <ul style="list-style-type: none">・ CAGリピート病に対する治療法の開発に関する研究班 → CAGリピート病をトレハロースによるポリグルタミン含有蛋白で分子不安定性抑制によって発症を予防する方向性を示した。また、球脊髄性筋萎縮症の病態に基づく治療法についての報告を行った。・ 成人T細胞白血病ウイルス関連ミエロパチーの病態解明及び治療法の開発に関する研究班 →新しいHTLV-1特異的プロテアーゼ阻害剤開発の素地が出来上がり、新薬効果判定のためのウイルス阻害酵素活性の測定系を確立した。・ ライソゾーム性筋疾患の病態解明と治療法開発に関する研究班 →ライソゾーム性筋疾患の病態解明について、大きな成果が得られている。この成果を基に今後の治療法開発の可能性が開かれた。・ 未認可抗生剤ネガマイシンによる筋ジストロフィーの治療 |

→ネガマイシンが遺伝子病の治療としての作用機序の一端を解明し、新しい治療の可能性を示した点は評価できる。

上記の他にも脳・神経疾患について

① 原因遺伝子の単離し、その機能を解明する

② 新たな治療を臨床に応用するなど、

脳機能の解明に基づいた、多くの画期的な成果が得られている。

④行政施策との関連性・事業の目的に対する達成度

行政的に求められるニーズに対しては、適宜具体的な成果を上げている。

(上記③参照)

⑤課題と今後の方向性

- 今後更に行政的なニーズを明確にした研究課題の公募と進捗状況の把握、活用
 - ・我が国で司法精神医療福祉が新たにスタートするにあたり、精神医療福祉のモデルともなるよう、本研究事業により情報の収集・分析を行う。
- 研究経費の適切な執行体制の整備

⑥研究事業の総合評価 (暫定評価)

- わが国の精神疾患による受療者は、250万人を超え、年間の自殺死亡者は3万人を超えている。また、思春期のひきこもり、問題行動などこころの問題と関連する社会問題もクローズアップされている。このように「こころの健康問題」は、従来からのテーマである統合失調症(旧名;精神分裂病)等の精神疾患はもちろんのこと、軽症のうつ、神経症、摂食障害、ストレス性障害、睡眠障害、発達障害等非常に広範かつ深刻な問題をカバーするようになっている。

また、「こころの健康問題」の特性として、遺伝子解析・分子機構解明・画像解析等による脳内機構解明から、表現される行動の評価、福祉を含む社会システムとの関連、倫理や人権上の配慮まで重層的な視野での取り組みが不可欠である。

- 「こころの健康科学研究事業(精神分野)」においては、このような状況を踏まえて、平成14年度の事業再編統合から、行政的ニーズに沿った研究推進とその適切な評価を進めてきたところである。

- その結果、

- ・ 精神疾患の病態解明においては、最新の遺伝子解析、分子機構解明、画像解析等の手法に基づく研究が進められた結果、新たな機構や新たな分子の発見等により新たな予防手法や治療薬の開発、客観的診断手法の開発に向けた展開が期待される成果が得られ、
- ・ 精神疾患の診断治療等については、睡眠障害、うつ病等に関する疫学的なデータ、思春期保健対策に係る方向性等に関する一定の成果が得られ、
- ・ 精神医学の新たな分野であると同時に行政施策との関連も深い司法精神医学の研究基盤が形成されるなど

研究事業の目的に沿った具体的な成果が得られ、随時、行政にもフィードバックさ

れている。

- ・ また、神経疾患分野においても、HAMの発症予防措置を講じる可能性が期待されるようになるなど、いくつかの神経疾患において、研究によって解明された病態に基づき予防法や新しい治療法の展望が開けており、神経疾患の医療の向上に資する大きな成果を挙げている。
 - ・ 今後も脳・神経疾患についてゲノム解析や分子生物学的手法等を駆使して病因、病態の解明を進める。そして、これらの成果を遺伝子治療、再生医療につなげるなどして、新しい治療法の開発とその臨床応用を目指していく。
- 国民の健康に占める「こころの健康問題」の重要性に鑑み、本事業を強力に推進していく必要がある。

平成15年度厚生労働科学研究費補助金採択課題一覧

| NO. | 事業名 | 開始 | 終了 | 主任研究者 | 所属施設 | 職名 | 研究課題名 | 交付決定額 (単位:千円) |
|-----|--------------|----|----|--------|----------------------|---------|---|------------------|
| 1 | こころの健康科学研究事業 | 15 | 18 | 田平 武 | 国立療養所中部病院長寿医療センター | センター長 | アルツハイマー病の神経細胞死を誘導する遺伝子機能の解析と抑止法の開発 | 45,600 |
| 2 | こころの健康科学研究事業 | 15 | 18 | 内山 真 | 国立精神・神経センター精神保健研究所 | 部長 | ヒト睡眠・覚醒リズム障害の分子生物学的成因解明とテラーメイド治療法開発に関する基礎的研究 | 50,000 |
| 3 | こころの健康科学研究事業 | 15 | 18 | 大久保 義朗 | 東京医科歯科大学大学院保健衛生学研究科 | 教授 | 神経伝達機能イメージングを用いた機能性精神疾患の治療効果の客観的評価法及び診断法の確立に関する研究 | 44,000 |
| 4 | こころの健康科学研究事業 | 15 | 18 | 吉川 武男 | 理化学研究所 脳科学総合研究センター | チームリーダー | 気分障害の高精度候補領域解析および精神疾患ゲノムバンクの構築 | 30,000 |
| 5 | こころの健康科学研究事業 | 15 | 18 | 山脇 成人 | 広島大学大学院医歯薬学総合研究科 | 教授 | ストレス性神経障害の成因解明と予防開発に関する研究 | 48,000 |
| 6 | こころの健康科学研究事業 | 15 | 18 | 中根 允文 | 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 | 教授 | 精神保健の知識と理解に関する日豪比較共同研究 | 30,000 |
| 7 | こころの健康科学研究事業 | 15 | 18 | 松下 正明 | 東京都立松沢病院 | 院長 | 触法行為を行った精神障害者の精神医学的評価、治療、社会復帰等に関する研究 | 36,000 |
| 8 | こころの健康科学研究事業 | 15 | 18 | 森 浩一 | 国立身体障害者リハビリテーションセンター | 室長 | 吃音の病態解明と検査法の確立及び受療機会に関する研究 | 10,000 |
| 9 | こころの健康科学研究事業 | 15 | 15 | 森 則夫 | 浜松医科大学精神神経医学講座 | 教授 | アスペルガー症候群の成因とその教育・療育的対応に関する研究 | 10,000 |
| 10 | こころの健康科学研究事業 | 15 | 15 | 大森 哲郎 | 徳島大学医学部 | 教授 | DNAチップを用いたうつ病の診断と病態解析 | 10,000 |
| 11 | こころの健康科学研究事業 | 15 | 15 | 久保木 富房 | 東京大学大学院薬学系研究科 | 教授 | パニック障害の身体的・心理的成因の解明と治療ガイドラインの策定 | 10,000 |
| 12 | こころの健康科学研究事業 | 15 | 15 | 保坂 隆 | 東海大学医学部 | 教授 | 自殺未遂患者と再企図者の背景についての研究 | 3,000 |
| 13 | こころの健康科学研究事業 | 15 | 18 | 杉本 壽 | 大阪大学大学院医学系研究科 | 教授 | 外傷性中枢神経障害のリハビリテーションにおける科学的解析法と治療法の確立に関する研究 | 20,000 |
| 14 | こころの健康科学研究事業 | 15 | 18 | 有賀 寛芳 | 北海道大学大学院薬学研究科 | 教授 | パーキンソン病PARK7の原因遺伝子DJ-1の機能と創薬応用 | 50,400 |
| 15 | こころの健康科学研究事業 | 15 | 18 | 楠 進 | 東京大学医学部 | 講師 | 免疫性末梢神経障害の病態解明と治療法に関する研究 | 25,000 |
| 16 | こころの健康科学研究事業 | 15 | 18 | 清水 輝夫 | 帝京大学医学部 | 教授 | α -dystroglycanのo-mannose型糖鎖と細胞外matrix結合に異常をきたす先天性筋ジストロフィーの病態解明と治療法の開発 | 54,000 |
| 17 | こころの健康科学研究事業 | 15 | 18 | 糸山 泰人 | 東北大学大学院医学系研究科 | 教授 | 筋萎縮性側索硬化症に対する肝細胞増殖因子(HGF)を用いた挑戦的治療法の開発とその基礎研究 | 30,000 |
| 18 | こころの健康科学研究事業 | 15 | 18 | 小川 智 | 金沢大学大学院医学系研究科 | 教授 | 小胞体制御による神経細胞死抑制・神経変性治療 | 37,000 |
| 19 | こころの健康科学研究事業 | 15 | 18 | 佐藤 隆幸 | 高知医科大学 | 教授 | 難治性自律神経失調症による重度の起立性低血圧を克服し、寝たきりを防止するバイオニック動脈圧反射装置の臨床開発に関する研究 | 5,000 |
| 20 | こころの健康科学研究事業 | 15 | 18 | 祖父江 元 | 名古屋大学大学院医学系研究科 | 教授 | 運動ニューロン疾患の病態に基づく治療法の開発 | 50,400 |
| 21 | こころの健康科学研究事業 | 15 | 18 | 武田 伸一 | 国立精神・神経センター神経研究所 | 部長 | 内因性ユートロフィンの発現増強による筋ジストロフィーの画期的治療法の開発 | 54,000 |
| 22 | こころの健康科学研究事業 | 15 | 18 | 山村 隆 | 国立精神・神経センター神経研究所 | 部長 | 免疫抑制性ネットワークを介した炎症性神経疾患の画期的な治療法開発に関する研究 | 36,000 |

| NO. | 事業名 | 開始 | 終了 | 主任研究者 | 所属施設 | 職名 | 研究課題名 | 交付決定額 (単位:千円) |
|-----|--------------|----|----|-------|-------------------------------|----------|--|------------------|
| 23 | こころの健康科学研究事業 | 15 | 18 | 和田 圭司 | 国立精神・神経センター神経研究所 | 部長 | 神経変性疾患の根本的治療の実現をめざした新規モデル動物での先端的治療法の開発と確立 | 48,000 |
| 24 | こころの健康科学研究事業 | 14 | 16 | 加藤 進昌 | 東京大学医学部附属病院精神神経科 | 教授 | 自閉症の原因解明と予防、治療法の開発—分子遺伝・環境・機能画像からのアプローチ— | 36,000 |
| 25 | こころの健康科学研究事業 | 14 | 16 | 三國 雅彦 | 群馬大学医学部神経精神医学講座 | 教授 | 感情障害の発症脆弱性素因に関する神経発達・神経新生的側面からの検討並びにその修復機序に関する分子生物学的研究 | 36,000 |
| 26 | こころの健康科学研究事業 | 14 | 16 | 功刀 浩 | 国立精神・神経センター神経研究所疾病研究第三部 | 部長 | 自殺を惹起する精神疾患の感受性遺伝子の解明 | 36,000 |
| 27 | こころの健康科学研究事業 | 14 | 16 | 松岡 洋夫 | 東北大学大学院医学系研究科神経科学講座精神神経学分野 | 教授 | 精神分裂病の発症脆弱性の解明およびその客観的な診断方法の確立 | 36,000 |
| 28 | こころの健康科学研究事業 | 14 | 16 | 酒井 明夫 | 岩手医科大学医学部神経精神科学講座 | 教授 | 自殺多発地域における中高年の自殺予防を目的とした地域と医療機関の連携による大規模介入研究 | 15,000 |
| 29 | こころの健康科学研究事業 | 14 | 16 | 塚田 和美 | 国立精神・神経センター国府台病院 | 第一病棟部長 | 重症精神障害者に対する、新たな訪問型の包括的地域生活支援サービス・システムの開発に関する研究 | 42,000 |
| 30 | こころの健康科学研究事業 | 14 | 16 | 岡崎 祐士 | 三重大学医学部 | 教授 | 双生児法による脳とこころの発達過程及び精神疾患成因の解明 | 25,000 |
| 31 | こころの健康科学研究事業 | 14 | 16 | 福山 秀直 | 京都大学大学院医学研究科 | 教授 | 脳機能画像を用いたパーキンソン病の病態と治療法の評価に関する研究 | 30,000 |
| 32 | こころの健康科学研究事業 | 14 | 16 | 坂井 文彦 | 北里大学医学部内科 | 教授 | 慢性頭痛の診療ガイドライン作成に関する研究 | 36,000 |
| 33 | こころの健康科学研究事業 | 14 | 16 | 平澤 恵理 | 順天堂大学医学部老人性疾患病態・治療研究センター脳神経内科 | 講師 | 細胞外マトリックスの異常による遺伝性筋疾患の病態解明と治療法に関する研究 | 20,000 |
| 34 | こころの健康科学研究事業 | 14 | 16 | 池田 穰衛 | 東海大学総合医学研究所分子神経科学部門 | 次長・教授 | ALS2分子病態解明とALS 治療技術の開発 | 42,000 |
| 35 | こころの健康科学研究事業 | 14 | 16 | 鈴木 義之 | 国際医療福祉大学臨床医学研究センター | 教授 | 神経遺伝病に対するケミカルシャペロン療法の開発 | 10,000 |
| 36 | こころの健康科学研究事業 | 14 | 16 | 水澤 英洋 | 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科脳神経機能病態学分野 | 教授 | 発現型RNAiを用いた神経・筋疾患の画期的遺伝子治療法の開発 | 42,000 |
| 37 | こころの健康科学研究事業 | 14 | 16 | 渋谷 統寿 | 国立療養所川棚病院 | 院長 | 選択的リンパ球吸着療法による免疫性神経筋疾患の治療 | 10,000 |
| 38 | こころの健康科学研究事業 | 13 | 15 | 赤堀 文昭 | 麻布大学獣医学部(兼)生物科学総合研究所 | 教授(兼)所長 | ひきこもり等の精神問題に対する精神的なアプローチに関する研究(動物介在療法及び音楽療法の臨床的な応用) | 3,200 |
| 39 | こころの健康科学研究事業 | 13 | 15 | 石井 哲夫 | (社)日本自閉症協会 | 会長 | 高機能広汎性発達障害の社会的不適応とその対応に関する研究 | 10,000 |
| 40 | こころの健康科学研究事業 | 13 | 15 | 江草 安彦 | 社団法人 日本重症児福祉協会 | 理事長 | 重症心身障害児施設入所児(者)の20余年間の実態調査の分析に関する総合研究 | 5,940 |
| 41 | こころの健康科学研究事業 | 13 | 15 | 大川 匡子 | 滋賀医科大学 精神医学講座 | 教授 | 睡眠障害対応のあり方に関する研究 | 10,000 |
| 42 | こころの健康科学研究事業 | 13 | 15 | 鹿島 晴雄 | 慶應義塾大学医学部 精神神経科 | 教授 | 精神疾患治療ガイドラインの策定等に関する研究 | 3,240 |
| 43 | こころの健康科学研究事業 | 13 | 15 | 神庭 重信 | 山梨医科大学 精神神経医学講座 | 教授 | うつ病による自殺の予防を目的としたスクリーニングと介入の研究 | 12,000 |
| 44 | こころの健康科学研究事業 | 13 | 15 | 北村 俊則 | 熊本大学医学部 神経精神医学講座 | 教授 | 人間関係の希薄化がもたらした精神保健問題に関する研究 | 4,500 |
| 45 | こころの健康科学研究事業 | 13 | 15 | 吉川 武彦 | 国立精神・神経センター精神保健研究所 | 名誉所長 | こころの健康に関する疫学調査の実施方法に関する研究 | 24,000 |
| 46 | こころの健康科学研究事業 | 13 | 15 | 金 吉晴 | 国立精神・神経センター精神保健研究所成人精神保健部 | 成人精神保健室長 | 心的外傷体験による後遺障害の評価と援助技法の研究 | 10,000 |

| NO. | 事業名 | 開始 | 終了 | 主任研究者 | 所属施設 | 職名 | 研究課題名 | 交付決定額 (単位:千円) |
|-----|--------------|----|----|--------|-----------------------------------|----------------|--|------------------|
| 47 | こころの健康科学研究事業 | 13 | 15 | 小林 秀資 | 国立公衆衛生院 | 院長 | 思春期における暴力行為の原因究明と対策に関する研究 | 9,900 |
| 48 | こころの健康科学研究事業 | 13 | 15 | 斎藤 万比古 | 国立精神・神経センター国府台病院 心理・指導部 | 心理・指導部長 | 児童思春期精神医療・保健・福祉のシステム化に関する研究 | 11,000 |
| 49 | こころの健康科学研究事業 | 13 | 15 | 今田 寛睦 | 国立精神・神経センター精神保健 研究所 | 所長 | 自殺と防止対策の実態に関する研究 | 22,000 |
| 50 | こころの健康科学研究事業 | 13 | 15 | 白倉 克之 | 国立療養所久里浜病院 | 院長 | 青少年の飲酒問題の実態と予防に関する研究 | 8,000 |
| 51 | こころの健康科学研究事業 | 13 | 15 | 中村 俊規 | 獨協医科大学医学部越谷病院救命 救急センター | 講師 | 脳外傷後遺症の情動要因、特に心的外傷に注目した認知リハビリ テーションとその臨床コストに関する研究 | 4,500 |
| 52 | こころの健康科学研究事業 | 13 | 15 | 車地 暁生 | 東京医科歯科大学大学院精神行動 医学分野 | 講師 | 自殺予防を目指した新規向精神薬開発に関する研究 | 28,000 |
| 53 | こころの健康科学研究事業 | 13 | 15 | 小島 卓也 | 日本大学 医学部精神神経科学 教室 | 教授 | 精神分裂病の客観的診断法の確立と分子遺伝学的基盤に関する 研究 | 35,000 |
| 54 | こころの健康科学研究事業 | 13 | 15 | 松田 博史 | 国立精神・神経センター武蔵病院 放射線診療部 | 放射線診療部長 | 精神疾患に対する多重画像モダリティによる認知機能障害の解明 とそれに基づく治療法の開発 | 24,000 |
| 55 | こころの健康科学研究事業 | 13 | 15 | 若松 延昭 | 愛知県心身障害者コロニー発達 障害研究所遺伝学部 | 遺伝学部長 | SIP1欠損症:神経堤障害とてんかんを呈する知的障害患者の病態 解明と治療法の開発 | 22,500 |
| 56 | こころの健康科学研究事業 | 13 | 15 | 塩見 春彦 | 徳島大学 ゲノム機能研究セン ター | 教授 | 遺伝性精神遅滞症脆弱X症候群の分子機構解析とその治療への 応用 | 22,500 |
| 57 | こころの健康科学研究事業 | 13 | 15 | 高橋 清久 | 国立精神・神経センター | 総長 | こころの健康科学研究事業に係る企画及び評価に関する研究 | 30,337 |
| 58 | こころの健康科学研究事業 | 13 | 15 | 水野 美邦 | 順天堂大学医学部神経学教室 | 教授 | パーキン蛋白の機能解析と黒質変性及びその防御 | 85,552 |
| 59 | こころの健康科学研究事業 | 13 | 15 | 眞名 信行 | 理化学研究所脳科学総合研究セ ンター 病因遺伝子研究グループ | グループディ レクター | CAGリピート病に対する治療法の開発に関する研究 | 35,000 |
| 60 | こころの健康科学研究事業 | 13 | 15 | 納 光弘 | 鹿児島大学医学部 | 教授 | 成人T細胞白血病ウイルス関連ミエロパチーの病態の解明及び治 療法の開発に関する研究 | 30,000 |
| 61 | こころの健康科学研究事業 | 13 | 15 | 西野 一三 | 国立精神・神経センター神経研究 所疾病研究第一部 | 部長 | ライソゾーム性筋疾患の病態解明と治療法開発に関する研究 | 30,000 |
| 62 | こころの健康科学研究事業 | 13 | 15 | 堂浦 克美 | 九州大学大学院医学研究院 | 助教授 | 即戦力的クワイツフェルト・ヤコブ病治療法の確立に関する研究 | 25,000 |
| 63 | こころの健康科学研究事業 | 13 | 15 | 松田 良一 | 東京大学大学院総合文化研究科 | 助教授 | 未認可抗生物質ネガマイシンによる筋ジストロフィーの治療 | 25,000 |